

【取組のプロセス】

地魚のみを使った「地元でしか味わえない」海鮮丼を求める客で、にぎわうようになる。

2011年～

きっかけ

○糸島漁協が経営する直売所の活性化を目的に、地魚のみを使った飲食店のオープンを任される。日々の営業の中で、資源の枯渇、漁業者の減少、魚価の低迷等、地魚を取り巻く課題に直面。消費者と生産者が一体となって、課題を共有・解決に取り組むための仕組み「地魚BANK」を立ち上げる。

生産者支援を事業化した新たな店舗をオープン

○平成27年3月、海鮮丼以外でも地魚の魅力を伝えるため、地元産ハマグリやシシ肉、アスパラ等の糸島野菜の料理を提供する新たな店舗をオープン。その他にも地エビを使った加工品製造やイベント出店等を通し、多角的に地元産食材の魅力を伝える取り組みを開始。

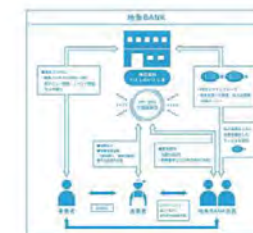


地元エビ漕ぎ漁のPRを目的にイベントや加工品製造を行う「二丈ジエビ食堂」を開始

2015年～

地魚 BANK事業開始

○平成30年12月に、全ての事業コンセプトを統一し「うまい魚をこれからもずっと」食べられる社会の実現のため、生産者と消費者が主客一体で取り組もうとする「地魚BANK」を立ち上げる。併せて会員募集を開始。会費やクラウドファンディングにより活動資金を集める。



農林水産省「車座ふるさとトーク」にて地魚BANK活動紹介

2018年～

糸島地魚ツーリズム推進協議会設立

○平成31年3月に、漁協、漁業関係者、観光協会等を構成員とした糸島地魚ツーリズム推進協議会を設立し、農泊事業の取り組みを開始。「うお旅」等の観光コンテンツを開発により、地魚をはじめとした地元産食材のさらなる価値向上を目指す。



農山漁村振興交付金（農泊推進対策）の活用

2019年～

未来の漁業をまもるための取組や地魚の価値向上に取り組む

- 飲食、加工品、イベント、SNS、農泊、様々な方法で地魚の魅力を伝え続ける。
- 九州大学と連携し、漁業残渣等の有機物を活用した燃料電池エネルギー開発等、漁業が抱える課題を多面的に解決する。
- 地魚BANKの会員（一般消費者、事業者）と一緒にアイデアを産み出し、同時にロイヤルカスタマーとして囲い込むスキームを作り上げる。そのスキームを糸島でブラッシュアップした上で、日本全国の浦々に広がっていく。



未利用魚の活用を目的に、クラウドファンディングで加工場「地魚ラボ」を建設

今後の展望

- 平成14年、地元企業や学校との連携による地域活性化及び心豊かな人材を育むことを目的に会を発足。棚田の保全活動や都市農村交流、棚田米を使用した純米酒の製造、販売等を通して、地域好循環型社会を構築。



キーワード

内発的

企業

学生

6次産業化

都市農村交流

棚田保全活動

基本情報

- 所在地：佐賀県伊万里市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：すみやま棚田守る会
- 選定表彰：R元年「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」全国選定
- 主力商品・イベント：純米吟醸すみやま・農業体験、そば打ち体験、棚田イルミネーション
- 活用している地域資源：棚田、農産物
- 主な国等の支援策：過疎集落等自立再生対策事業（総務省）

取組の概要

- 都市部との交流を目的にオーナー制度を設け、オーナーが田植え、稲刈りに参加している。
- 農業体験「山桜」を建設し、地元食材で、そば打ち体験や地元料理を提供。
- CATV・地元酒造会社と連携し「純米吟醸すみやま」を製造販売。ふるさと納税の返礼品に選定されるとともに、仏の日本酒品評会で金賞受賞。
- 大学と連携した棚田での農業体験をテーマとした研究や水力発電によるイルミネーションなどを実施。



稲刈り体験



純米酒すみやま



イルミネーション

体制図



連携

連携団体

地元酒蔵：古伊万里酒造

地元CATV：アイテレビ

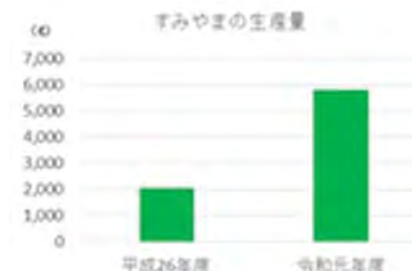
地元印刷会社：三光

九州大学

福岡女子大学

取組の成果

- すみやまの売上370万円、生産量5,800リットル（R元）。
- 農業体験参加者数300名、そば打ち体験参加者数50名（R元）。



所在地▶佐賀県伊万里市二里町中里甲2 2 2 3

連絡先▶TEL: FAX : 0955-23-3776

ウェブサイト▶<http://www.ihn.jp/~hisakim/>

【取組のプロセス】

小学生を対象に田植え、稲刈り、しめ縄づくり等、農業体験を開始

2002年～

きっかけ

○農地の荒廃に加え集落の存続が危ぶまれたことを機に、8年がかりで棚田を整備し、地域活性化及び豊かな人材を育むことを目的に棚田を守る会を発足。

2007年～

地元酒蔵と連携し、「純米酒すみやま」を製造・販売

棚田オーナー制度開始

○平成19年度から毎年、都市部との交流を目的にオーナー制度を設け、市外約30名のオーナーが田植え、稲刈りに参加。



2014年～

CATV・地元酒蔵と連携し、「純米吟醸すみやま」を製造・販売

農業体験施設「山桜」建設

○平成26年に、農業体験施設「山桜」を建設し、地元食材で、そば打ち体験や地元料理を提供。
○伊万里市と連携したお見合いそば打ち体験など、婚活イベントを実施。



2018年～

CATV・印刷会社と連携し、QRコードですみやまを世界に動画配信

CATVと棚田ボランティア活動の協定を締結し、年間を通し保全イベントを実施

CATV・JALと連携し、福岡空港で「純米吟醸すみやま」を販売

大学との連携実施

○平成30年度に、CATV・福岡女子大と連携し、年間を通し研究事業を実施。学祭で棚田米の料理を振る舞う活動取材し放映。番組は大学の研究発表に使用。また、九州大学と連携し、水力発電事業を実施。棚田にイルミネーションを灯す。



今後の展望

地域発展と人口増加に貢献

○スマート後継者育成の課題を克服すべく、地元企業と連携し、農業法人化を目指す。
○CATVと連携し、地域BWAを活用したスマート農業の推進や大学と連携し、棚田を活用した水力発電（再生可能エネルギー）にチャレンジ。
○その他、空き家を活用した民泊の運営。外国でお酒を販売し、生産量と販売本数の拡大。販売交渉の様子をCATVが現地取材し、世界向けにPRすることで外国人旅行者の増加に努め、地域発展と人口増加への貢献を目指す。



- 平成4年、飲食店のグループが生ごみ資源化研究会を立ち上げ調査や微生物の研究を行い、平成9年に生ごみ堆肥化実行委員会を結成、平成12年生ごみ堆肥化プラント完成。平成15年にNPO法人化し、平成16年に直売所を開設、生ごみを宝に、食資源循環によるまちづくりを展開。



キーワード

内発的

飲食店事業者

学生

資源循環

教育

基本情報

- 所在地：佐賀県伊万里市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：NPO法人伊万里はちがめプラン
- 選定表彰：
 - H20循環型社会推進形成功労者 環境大臣賞
 - H31年食品もったいない大賞 農林水産大臣賞
 - R元地球温暖化防止活動環境大臣賞
- 主力商品・イベント：堆肥、菜の花栽培・市内の小学4年生の環境教育…等
- 活用している地域資源：生ごみ、廃食油

取組の概要

- 一般家庭300世帯、食品関連71事業所の参加協力によって年間500トンの生ごみを回収し、微生物を多く含んだ良質な堆肥250トンを生産。
- 環境フォーラムの開催や各種イベント（市内全保育園における菜の花栽培と全児童の図画展、環境杯グランドゴルフ大会等）を通して、堆肥を利用した環境保全型農業や菜の花栽培を推進。
- 国内外を問わず視察や研修を受け入れ、環境啓発活動を展開するとともに、市内小学校において、環境教育を18年間実施。



生ごみプラントと見学者



保育園児と老人会とで菜の花苗栽培



はちがめ教室での質問タイム

体制図

NPO法人伊万里はちがめプラン	
副理事長(1名)	生ごみ堆肥化部(生ごみの回収と堆肥化)
理事長・理事(2名)	環境教育・啓発部(小学生に対する環境教育)
運営委員(4名)	菜の花プロジェクト(菜の花栽培の普及啓発)
	堆肥・農産物販売部(農産物直売所「風道」)
会員数 300名	
職員 常勤4名(堆肥現場・2名事務局・直売所1名)	

連携

協力団体

佐賀大学地域貢献事業「はちがめエココミねっと」
生ごみステーションの会・いまり菜の花の会
伊万里料販店組合・伊万里西ロータリークラブ
伊万里いまだけ農場・ソロボチミストいまり

取組の成果

- 年間収益 1,640万円(令和元年)
- 生ごみ500トン/年の削減はごみ焼却費の節約1,350万・CO₂発生抑制1,000トン。
- 市立6保育園と学校給食センターとの生ごみ再資源化委託契約決定。
- 令和2年、伊万里いまだけ農場(新規就農者研修場)と連携開始。



所在地▶佐賀県伊万里市大坪町狩立乙2436-1

連絡先▶TEL: 0955-22-4058 FAX: 0955-22-4058

E-mail: 'hatigame@orion.ocn.ne.jp'

ウェブサイト▶<https://www.hachigame-plan.org/>

- 平成27年にNPO法人化。カフェレストラン、ゲストハウス、農園の運営、農泊推進、移住促進、各種イベント、地域情報発信等の地域活性化の取組を展開。



キーワード

内発的

移住者

JICA協力隊OB

地域回遊型イベント

農泊

移住・定住

基本情報

- 所在地：長崎県西海市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：NPO法人雪浦あんぱんね
- 選定表彰：
 - 令和元年度第10回地域再生大賞 優秀賞
 - 平成25年度全国過疎地域自立促進連盟会長賞
- 主力商品・イベント：雪浦ウィーク
- 活用している地域資源：景観、自然
- 主な国等の支援策：農山漁村振興交付金（農泊推進事業）

取組の概要

- ゴールデンウィーク期間中に4日間開催する地域回遊型イベント「雪浦ウィーク」をH11年以来、毎年開催。
- 年間を通じた活動の創出に向け、H27年にNPO法人化。カフェレストランを開設するとともに、H30年にゲストハウスをオープン。
- R元年は長崎大学と連携し、留学生12名を受入れ、サマープログラムの地域社会を学ぶ場として雪浦を提供。
- 史跡巡りや移住体験ツアーなど様々な体験プログラムの実施。



雪浦ウィークマップ
(令和2年度は中止)



長崎大学留学生
サマープログラム



移住体験ツアー

体制図

取組の成果

- 「雪浦ウィーク」の販売売上は、9百万円超（R1年度）。
- ゲストハウスの宿泊者数は、英語版HPの開設等もあり、R元年に入りインバウンドが急増し、世界約30か国から254人が来訪。
- R元年8月に「移住体験ツアー」を実施。3家族10名参加のうち、1家族が移住。

所在地▶長崎県西海市大瀬戸町雪浦下釜郷504

連絡先▶TEL:0959-31-4071 FAX:0959-31-4071

E-mail:info@yukinoura.net

ウェブサイト▶https://yukinoura.net/

雪浦あんぱんねの拠点施設・イベント等

カフェレストランゆきや、雪浦ゲストハウス森田屋、あんぱんね農園

雪浦ウィーク、マルシェdeあんぱんね、農業体験、宿泊 等

連携団体との体験メニュー等

遊ぶ・食べる：SUP、サーフィン、勾玉作り、サンセットクルージング、カフェ 等

学ぶ・癒やす：アナログ音の体験、味噌造り、アロマ、音楽セラピー 等

買う・泊まる：酢、味噌、ジャム 等 農家民泊

NPO法人雪浦あんぱんね

- 平成12年、農業交流拠点施設「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。6次化による農産加工品の製造・販売、食育体験や収穫体験など豊富なメニューで取組を展開。



キーワード

内発的

女性

6次産業化

都市農村交流

基本情報

- 所在地：長崎県大村市
- 地域指定：平地農業地域
- 団体名：有限会社シュシュ
- 選定表彰：
 - 平成27年度全国農業コンクール 農林水産大臣賞
 - 平成19年度全国地産地象活動優良表彰（交流促進部門）農林水産大臣賞
- 主力商品・イベント：
 - ジェラート等、食育・農林漁業体験
- 活用している地域資源：農林水産物

取組の概要

- 農業テーマパーク構想の実現のため、一年中観光客が訪れる交流拠点「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。
- 地元農産物を生鮮品だけでなく、6次化による商品開発でジェラート、プリンなど多数商品化し販売。レストランではランチバイキングなどを提供。
- 大村市グリーン・ツーリズム推進協議会と連携した観光・体験農業を展開。



おおむら夢ファームシュシュ
外観写真

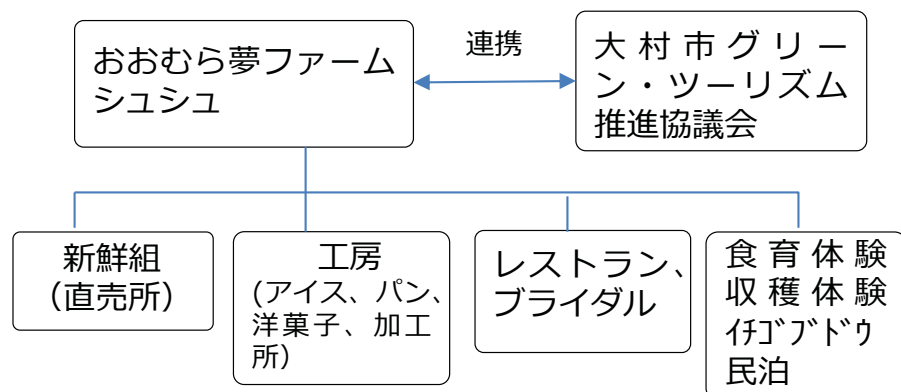


地元産の農産物を使用したジェラート



農業塾生と農家との交流の様子

体制図



取組の成果

- 6次化による売上高は3.2億円から3.9億円に増加（H26～H30）。
- 食育及び農業体験者数はともに増加しており合計約3万人（H30）。
- 常時雇用職員の8割が女性。従業員は季節雇用も含めて年間100名以上。

所在地▶長崎県大村市弥勒寺町486

連絡先▶TEL:0957-55-5288 FAX : 0957-55-5323

E-mail:info@chouchou.co.jp

ウェブサイト▶http://chouchou.co.jp/

- 平成29年に組織を立ち上げ、「地域を災害から守る消防団のように鳥獣害から地域と畑を守る！」を合い言葉に、品目、規模を超え県内の若手農家有志で、住民主体の鳥獣害対策モデルの構築を目指す。



キーワード

内発的

企業

学生

ジビエ

クラウドファンディング

6次産業化

基本情報

- 所在地：熊本県宇城市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：くまもと☆農家ハンター
- 選定表彰：
 - H29地域未来索引企業選定
 - 第10回地域再生大賞
 - 第49回日本農業賞 食の架け橋部門特別賞
 - GOOD DESIGN AWARD2019
- 主力商品・イベント：イノシシ肉利活用商品・ジビエサミット、鳥獣セミナー
- 活用している地域資源：農産物、イノシシ
- 主な国等の支援策：鳥獣被害防止総合対策交付金

取組の概要

- 情報共有や鳥獣対策の活動の啓蒙を目的に、メンバーと農家ハンターミーティングやサミットをこれまで10回開催。参加者数は延べ3,000人を超える。
- 罠やICTの購入には、クラウドファンディングを活用。箱罠50基、初心者を助けるIoTカメラ10基を購入してメンバーに無償貸与しサポートを実施。
- 食肉学校で処理技術と衛生管理を学び、国産ジビエ認証の取得を目指す。
- 獣害により耕作放棄地となった農地の再生プロジェクトを展開。
- サステナブルモデルによって、獣害を地域資源に変えられるようになった。
- 情熱大陸等のTV特集で、地域活性化として、鳥獣害対策が知られるようになった。

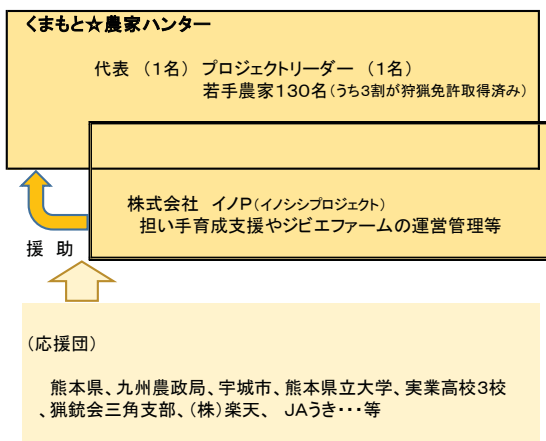


箱罠による効率的な捕獲



サステナブルモデルのイメージ

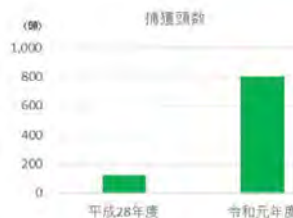
体制図



ミーティング

取組の成果

- 対策者が増えイノシシ捕獲頭数が年間800頭まで増加。
- 産学官民一体モデルとして鳥獣対策の啓蒙に繋がっている。
- ICTを活用することで農業と獣害対策の両立が可能となった。
- 2019に（株）イノPを設立しジビエの事業化を目指す。
- 国連のSDGs優良事例として世界に紹介されるようになった。



所在地▶熊本県宇城市三角町戸馳島397

連絡先▶TEL: 0964-53-0752 FAX: 0964-52-4246

E-mail:kumamotohunter@gmail.com

ウェブサイト▶<https://farmer-hunter.com/>

- 平成27年に課題の多い農業分野において、新時代は女性が創るという想いを込め女性だけで起業。女性の雇用創出や地元行事に積極的に企画・参加するなど地域活性化にも貢献。



キーワード

内発的

女性

農福

基本情報

- 所在地：大分県国東市
- 地域指定：平地農業地域
- 団体名：ウーマンメイク株式会社
- 選定表彰：
 - 令和元年度農山漁村女性活躍表彰
 - 農林水産大臣賞
 - 平成30年度ディスカバー農山漁村の宝
 - 全国選定（アクティブ賞）
- 主力商品・イベント：レタス
- 活用している地域資源：農林水産物
- 主な国等の支援策：
 - 強い農業づくり交付金

取組の概要

- 柔軟な勤務形態でレタス栽培に取り組み、地元雇用を創出。
- 社会福祉法人、県職業訓練（雇用労働政策課）等と連携し、業務委託や精神障害を抱える若者を積極的に採用。
- ライフスタイルやニーズを考えた商品開発を行い、独自ブランドで全国展開。



全員女性の従業員！

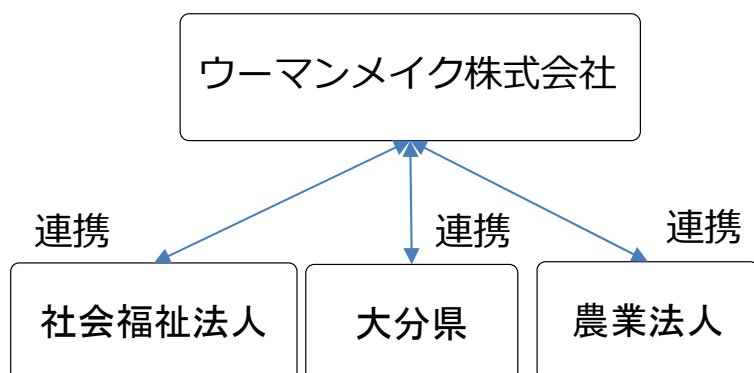


子連れ出勤OKな環境



女性目線で開発した商品パッケージ

体制図



取組の成果

- 女性の感性を活かし、商品開発でブランド化を図るとともに、地元の農業法人との共同生産・販売も手がけ、レタスの売上は、4,200万円（H28）から6,200万円（H29）に、H30には7,200万円まで増収。
- 安定的に利益が上がる農業システムを確立したことで、国内外からの視察が増加。視察を機に農業参入をした企業もあるなど、他地域への波及にも寄与。
- R2年度には30aから80aへ規模拡大を行い、水耕ほうれん草を新たに生産開始し、大分県指定の研修施設として新規就農研修生の受入も開始。

所在地▶大分県国東市安岐町大添572番地1

連絡先▶TEL:0978-67-3007 FAX:0978-67-3007

E-mail:info@womanmake.net

ウェブサイト▶https://womanmake.net/

- 平成24年個人事業者として開業、平成26年に法人化。地域資源と女性愛で「美味しい笑顔」を創ることで、地元女性の雇用創出や生産者の所得向上など地域活性化に貢献。



キーワード

内発的

女性

6次産業化

ジビエ

基本情報

- 所在地：大分県豊後大野市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：株式会社成美
- 選定表彰：
 - 平成30年度APEC Best Award Highest Growth Potential賞
 - 平成30年度ディスカバー農山漁村の宝全国選定
 - 平成28年度女性新ビジネスグランプリコンペティション地域みらい賞
- 主力商品・イベント：鶏汁、無添加スープ
- 活用している地域資源：農林水産物、ジビエ
- 主な国等の支援策：地域産業資源活用事業

取組の概要

- 従業員は全員女性で、働き方改革をいち早く取り入れ、地域の中でフレキシブルに働ける環境を創出。
- 地元農産物の規格外品を付加価値を付けた加工品として商品化し、生産者の所得向上に貢献。
- 県のジビエ振興協議会に加入し、ジビエ料理の普及拡大や消費拡大に努める。
- 地元高校や大学との共同開発によりハラル認証カレー等を商品化し販売。



「働き盛り」「子育て盛り」の女性たちの活躍の場に。



弊社オリジナル商品。女性ならではのデザインが特徴。



ジビエ商品。欧州の雰囲気漂うセレクト感を演出。

体制図

新たな6次産業化モデル



取組の成果

- 売上高は、200万円から約7,200万円に増加。(H25～H29)
- 全国の約40の企業や生産者と連携するなど、コラボ商品は45アイテムまで増加。自社商品もNARUMI Cooking Oitaなど3ブランドで13アイテムを商品化。(H29年)
- 仕入食材の種類は、4種類から27種類に増加し(H25～H29)、地元生産者の安定収入に寄与。

所在地▶大分県豊後大野市犬飼町柴北1099-2

連絡先▶TEL:097-579-7177 FAX:097-579-7178

E-mail:info@narumi-oita.com

ウェブサイト▶http://narumi-oita.com

- 平成10年、農林業公社から経営移管し、地域活性化を目的に、農産物の直売所及びレストランの運営、加工品の開発、直営農場の運営のほか、移動販売事業や生活支援サービス事業等にも取り組む。



キーワード

内発的

企業

6次産業化

教育

移住・定住

基本情報

- 所在地：大分県豊後大野市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：有限会社清川ふるさと物産館夢市場
- 選定表彰：
 - 全国直売所甲子園2019 新たな戦略部門グランプリ
- 主力商品・イベント：クリーンピーチ、金ごま、酒まんじゅう・秋の大収穫
- 活用している地域資源：農産物



人気の酒まんじゅう

取組の概要

- 「清川ブランド確立とファンづくり」を目標に目玉となる特産品・加工品の開発
- 後継者育成と農産物の確保を目的に直営農場を開設し、農産物の生産と研修等を実施
- コープおおいたと共同実施の体験農園「コープ親子スクール」など、食育活動の実施
- 地域課題解決のため、地域貢献事業（移動販売事業、生活支援サービス事業）を実施
- 今後、「有償ボランティア制度」「若者定住促進会議」等を整備することを検討している。



特産品のクリーンピーチ

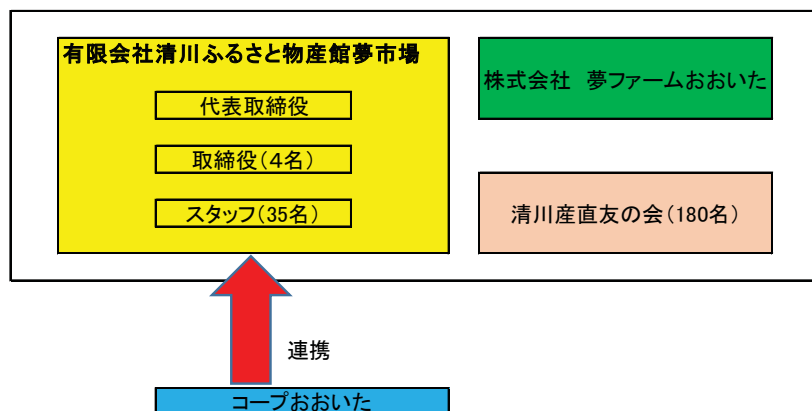


直営農場「(株) 夢ファーム大分」



移動販売事業

体制図



取組の成果

- 売上げは、3億5千万円超（R元）。
- 多角経営を進める中で、雇用数は少しずつ増加（H26: 28名→R元: 33名）。
- クリーンピーチのソフトクリームは年間3万個売上げ、酒まんじゅうは年間13万個以上の販売。



所在地▶大分県豊後大野市清川町砂田1574番地1

連絡先▶TEL: 0974-35-2117 FAX: 0955-22-4058

E-mail: yumeitiba@mitinoeki-kiyokawa.com

ウェブサイト▶<http://mitinoeki-kiyokawa.com/06.html>

- 地域特産品の「さつまいも」を活用し、市場ニーズに適合した加工食品の提供、小ぶりさつまいもの輸出により農業者の所得向上及び雇用の場を創出。



キーワード

内発的

学生・外国人実習生

輸出

6次産業化

基本情報

- 所在地：宮城県串間市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：株式会社くしまアオイファーム
- 選定表彰：
 - 平成30年度ディスカバー農山漁村の宝 全国選定
 - 平成28年度輸出に取り組む優良事業者 表彰農林水産大臣賞
- 主力商品・イベント：さつまいも
- 活用している地域資源：農林水産物
- 主な国等の支援策：農畜産物輸出拡大整備事業、6次産業化推進整備事業

取組の概要

- これまで廃棄されていた小芋が海外で需要があることに着目し輸出を開始。また、意図的に小ぶりさつまいもを栽培する「小畝密植栽培法」を開発・実践。
- 海外販路の確保、海外拠点での中心人物の育成のため、外国人実習生を受入。
- 地域の学生等を招いての施設見学や農業体験を実施。
- 生産・貯蔵・加工施設を市内に整備し、雇用の場を創出。



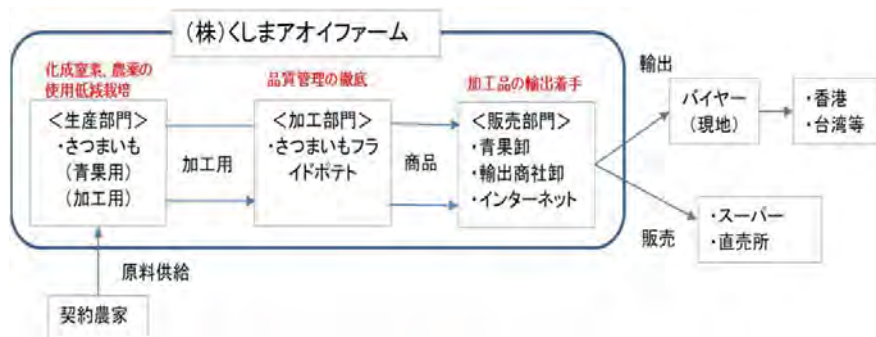
集出荷貯蔵施設



出荷場内

地元高校生との苗植え
(農業体験)

体制図



取組の成果

- さつまいもの売上は、4,600万円から13億8,000万円に増加。(H26～R1)
- さつまいもの輸出量は、69tから1,300tに増加。(H27～R1)
- 雇用者数（パート含む）は、18名から95名に増加。(H26～R1)

所在地▶宮城県串間市大字奈留6564-12

連絡先▶TEL:0987-71-2117 FAX:0987-71-2118

E-mail: info@aoifarm-gr.com

ウェブサイト▶https://aoifarm-gr.com/

○平成22年に協議会を設立し、「観光と連携してムラに生産を創る。」をテーマに、「農業の6次産業化」「食事と宿泊施設の整備」「エコミュージアムによる誘客」の三部門を一体化した新しい農村産業づくりを展開。



キーワード

内発的

企業

観光協会

6次産業化

都市農村交流

農泊

基本情報

- 所在地：宮崎県高千穂町
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：高千穂ムラたび協議会
- 選定表彰：
 - H28「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」全国選定 プロデュース賞受賞
- 主力商品・イベント：
 - 「あまざけ」などの発酵食品など
- 活用している地域資源：農産物、農村景観
- 主な国等の支援策：地域づくりインターン支援（国土交通省）、農山漁村振興交付金（農泊推進対策）（農林水産省）

取組の概要

- ①若者中心の事業体制、②麺研究所や製菓会社など専門機関の活用、③デザイン、情報化分野の高度化、④こだわり商品としての営業展開等を実施し、6次産業化に取り組む。
- 山間地域の条件不利な栽培環境を逆にとり、「手作り産品」として、直売2店舗等で販売。
- 「川のり」等、この集落でしか味わえない「食材、料理」を農家民宿2軒と古民家食堂で提供。
- 棚田、神話史跡等のスピリチュアルスポットを活かした農村観光開発を目的とする旅行散策のための「ムラごとエコミュージアム」の開設。



「あまざけ」等の原料栽培で景観保全



米発酵飲料「ちほまる」



民宿「まろうど」

体制図

【高千穂ムラたび協議会】

(株)高千穂ムラたび(事務局)(6次産業化推進、農村ビジネス創出等)

高千穂観光協会(農村観光開発、インパウンド誘致、PR)

地域の実践者(女性)(民宿、農産物直売、地産食堂)

集落農家(6次産業化原料生産、ミツバチ飼育)

取組の成果

- 事業収益は、7千万円超(R元)
- 住民意欲を喚起し、産業の刷新、若者の参入と定着、交流人口の増大をもたらしている。
- 住民連携による地元産原料の共同生産体制が実現、農地荒廃が抑制されている。



所在地▶宮崎県西臼杵郡高千穂町向山6604

連絡先▶TEL: 0982-72-7226 FAX: 0982-82-2283

E-mail: muratabi@bz04.plala.or.jp

ウェブサイト▶ <http://takachiho-muratabi.com>

- 「いつまでも住みたい魅力あるまち」の実現を目指すため、平成19年に法人化。地元農家と連携した「畑旅（はたたび）」を活動のメインとした「農業観光プロジェクト」等により観光誘致を推進。



キーワード

内発的

地域おこし協力隊

農観プロジェクト

基本情報

- 所在地：鹿児島県南九州市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：NPO法人頼娃おこそ会
- 選定表彰：
 - 平成29年総務省ふるさとづくり大賞、総務大臣賞
 - 平成28年 J T B 交流文化賞 優秀賞
- 主力商品・イベント：茶、芋、ばんどころ 絶景祭り
- 活用している地域資源：農林水産物、古民家・空き家、景観

取組の概要

- 商工会を母体とした団体。若手農家と協力し茶畑に囲まれた景勝地・大野岳においてお茶をテーマにした観光誘致をH28年より推進。
- 改修した空き家を農業観光の拠点として、農家がアテンドする畑での収穫体験や食事などを組み合わせた「畑旅」を実施。
- 旅行会社とタイアップした着地型観光商品を造成・販売。



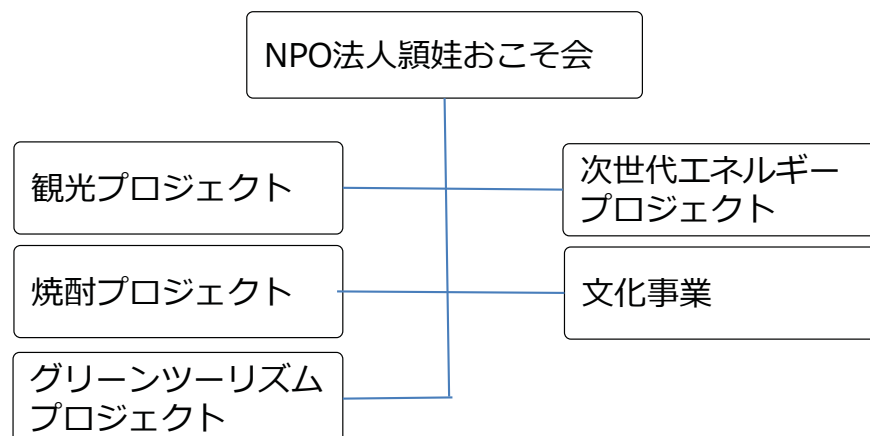
茶畑ウォーク中（畑旅）



茶畑の中の空き家再生現場 茶や

農家と観光事業者のユニット
頼娃のお福分けロゴ

体制図



取組の成果

- 観光スポットの開拓等により町外からの来訪者が数えるほどだったのが、年間15万人まで増加。（H30年度）
- 農産物を活用した新たな特産品の販売額が3年間で約100万円まで増加。（R1年度）
- 畑旅や茶畑ピクニックなどの体験者数が約500人まで増加。（R1年度）

所在地 ▶ 鹿児島県南九州市頼娃町別府5202
 連絡先 ▶ TEL:0993-38-0160 FAX: 0993-38-2721
 E-mail: okosokaikanko@gmail.com
 ウェブサイト ▶ <https://ei-okosokai.jimdo.com/>

- 平成25年に株式会社を設立し、農業と福祉を一体化させ、さらに6次化に取り組むことで、多くの人材を雇用することが可能となり、人手不足、所得の向上等、農業と農村の抱える問題点を解決し、地域の活性化に貢献。



キーワード

内発的

農家

企業

6次産業化

農福

基本情報

- 所在地：鹿児島県南さつま市
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：株式会社南風ベジファーム
- 選定表彰：
R元「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」全国選定
- 主力商品・イベント：赤しその塩漬け、ベビーリーフ、ポテトサラダなど
- 活用している地域資源：農産物



ベビーリーフのサラダ、
赤しそジュース

取組の概要

- 自社農場での野菜生産や施設での農産物加工に取り組み、障がい者を多く雇用。地域農家の人手不足の解消のため農作業を受委託。
- 高床式砂耕栽培施設の導入や地元スーパーと共同で惣菜工場を建設するなど農福連携や6次産業化に向けた取組みを積極的に展開。
- 令和2年9月に自社敷地内に農福カフェをオープンし、高齢者の食事支援や買い物支援を実施。



人手のいる高菜収穫作業

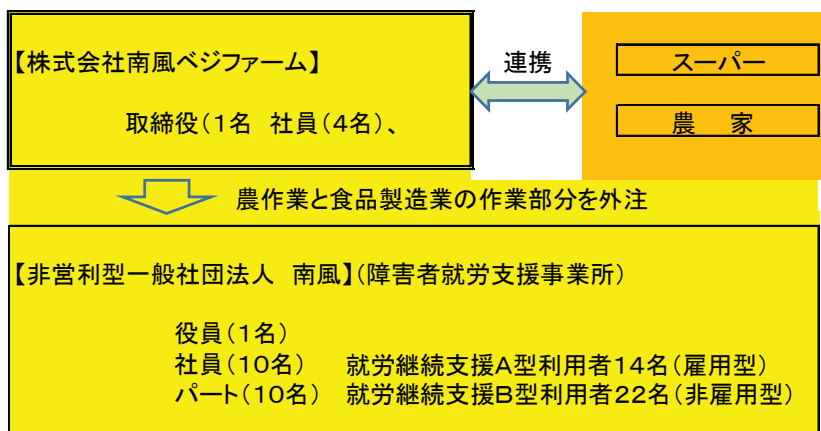


ベビーリーフの高床式砂耕栽培



農福カフェ

体制図



取組の成果

- 売上は、約3億円(R元)
- 農作業の受託により、農家の負担軽減や耕作放棄地防止に貢献
- 開業後6年で障がい者36名を含む60名の雇用を創出。6次産業化により1年を通じた仕事を創出



所在地▶鹿児島県南さつま市金峰町高橋3075-35

連絡先▶TEL: 0993-77-3932 FAX: 0993-77-3933 E-mail:

ウェブサイト▶ <http://www.nanpuu-vege.com/>

- 農福連携で知的障がい者の自立支援を図るとともに健常者と障がい者が交流できるイベント開催などによる食品販売を通じて、県内外の人々との交流促進により地域活性化に貢献。



キーワード

内発的

障がい者

女性

6次産業化

農福

基本情報

- 所在地：鹿児島県南大隅町
- 地域指定：中山間地域
- 団体名：社会福祉法人白鳩会
- 選定表彰：
 - 平成27年度ディスカバー農山漁村の宝 全国選定
 - 平成27年度第5回「日本でいちばん大切にしたい会社」審査員特別賞
 - 平成29年第68回南日本文化賞受賞
- 主力商品・イベント：
 - 茶、豚肉。花の木新茶まつり
- 活用している地域資源：農林水産物

取組の概要

- 知的障害者が安心して働き暮らせる場をつくるため昭和53年に農事組合法人を設立。
- いわゆる「触法障がい者」を積極的に受入れ、自立のための就労支援事業を実施。
- 循環型農法を実践するとともに、茶製造、防腐剤不使用のハム・ソーセージなどの6次産業化を推進し食品加工品を統一ブランド名「花の木農場」として販売。
- 健常者と障害者が交流できる花の木新茶まつりなどのイベントを継続して開催。



花の木農場Ⅱでのトマト栽培

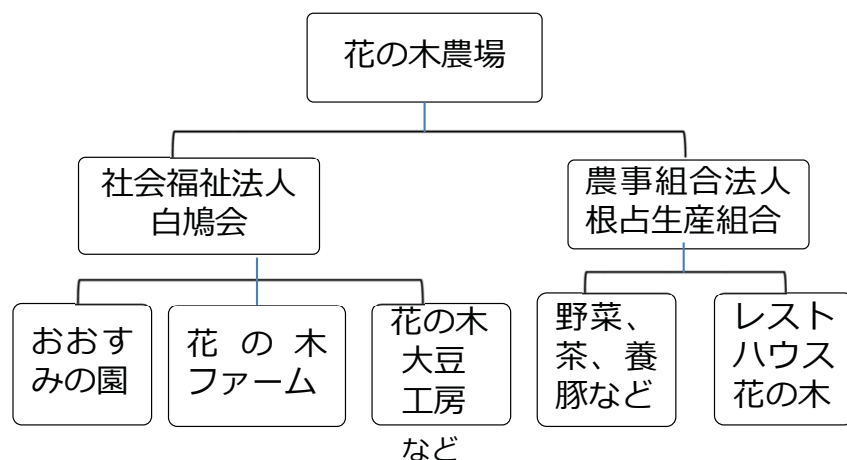


農場内レストラン「花の木」



チャリティコンサート&新茶まつり

体制図



取組の成果

- 生産組合の売上高は185百万円から203百万円に増加。（H28～R1）
- 生産組合が障害者を3人雇用、その他農業分野において障害者就労。
- 農福連携に関する視察数の増加。（R1年度：571人、47団体）
- 農場経営の規模拡大・安定化で、県内はもとより県外からの就職希望者が増加するとともに、女性が働きやすい職場づくりを促進。

所在地▶鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北2105

連絡先▶TEL:0994-24-2517 FAX:0994-24-3711 E-mail:

ウェブサイト▶<http://shirahatokai.jp/>

- 地域の自然資源・文化資源を活用し、体験滞在型観光地として地域連携のもと農泊を推進。農家レストランを拠点とした地産地消による地域ならではの料理を伝承し、島野菜での郷土料理体験を提供。



キーワード

内発的

地域人材

農泊

郷土料理

基本情報

- 所在地：沖縄県宮古島市
- 地域指定：平地農業地域
- 団体名：合同会社 宮古島さるかの里
- 選定表彰：
 - H21年度全国過疎地域自立促進連盟会長賞
 - H22年度沖縄ふるさと百選・交流の部門
- 主力商品・イベント：
 - 農泊、農家レストラン
- 活用している地域資源：
 - 農林水産物、文化、自然
- 主な国等の支援策：
 - 農山漁村振興交付金（農泊推進対策）
 - 離島観光・交流促進事業（沖縄県）

取組の概要

- 平成18年から教育旅行の受入れを開始し、島らしい受入れを念頭に年間宿泊数10,000泊の教育民泊を実施。外国人受入れ体制づくりも強化。
- 農家レストランを拠点に島野菜を使用した地産地消による郷土料理体験を提供。地域ならではの料理を伝承し、地域の交流の場にも。
- 食の安全・安心をテーマとしたメニュー開発や講習会を開催し、農泊受入れ家庭のレパトリー・体験メニューを増やすことで、長期受入れにも対応。
- 社会参画の機会が少ないお母さんや高齢者のやる気・生きがいづくり、農村部の活性化に繋がっており、農家の所得向上、雇用創出の効果もある。



メニュー開発



料理講習会



家畜の世話



伝統的な島野菜



農泊を通じた都市農村交流

体制図

設立年 平成17年4月(平成20年8月 法人登記)

組織図



取組の成果

- 農泊と農家レストランの売上高は8千万円超（R円）。
- 農泊の受入れ農家数は100軒程度で、所得向上や雇用機会の創出に貢献。
- 農泊体験者数と農家レストランの来店客数は約1.5万人（R円）。



黒糖づくり体験

所在地▶沖縄県宮古島市城辺字友利149-18

連絡先▶TEL:0980-77-7691 FAX:0980-77-7692

E-mail:kei-matu@miyako-ma.jp

ウェブサイト▶<http://www.ggt-sarukanokai.jp/>

【取組のプロセス】

農業の衰退
後継者問題
少子高齢化
地域活力の低下

2004年～

きっかけ

○宮古島市城辺地区の農業の衰退、少子高齢化、地域の活力低下等への危機感を持ち、地域資源や農業と観光とのリンクという観点から地域で出来ることを模索、組織を立ち上げた。

修学旅行の受入れを開始

- 平成17年に「ぐすくベグリーン・ツーリズム研究会」を立ち上げ、同年、地域づくり全国大会沖縄城辺分科会を受入れ。
- 平成18年より修学旅行の受入れを開始。
- 平成20年、法人格として「グリーン・ツーリズムさるかの里」を登記。



修学旅行の受入れ

社会参画の少ない
お母さんや高齢者
にやる気や活力を

2005年～

合同会社さるかの里設立、修学旅行の受入れ拡大

- 平成24年には35校9,000名の修学旅行生を受入れ、平成25年に現在の「合同会社さるかの里」を設立。
- 平成26年、修学旅行体験ビジットを提供、食のメニューを開発。



農産物の収穫体験

離島観光・交流促進事業（沖縄県）の活用

2012年～

大人の農泊を開始、さらに多種多様な受入れに対応

- 平成27年には、アレルギー対応講習会を行うなど、多種多様な受入れに対応できるようスキルアップを図る。
- 平成28年、沖縄県事業「島あっちい（離島観光・交流促進事業）」をきっかけに一般客の受入れも開始し、宮古島ファン層の増加、リピーターも増加傾向。
- 平成29年、「安心・安全講習会」を実施。民家2軒を改修してバリアフリー化、受入れ体制の強化を図る。
- 令和元年、外国人観光客の増加に伴い、インバウンド対応の環境整備を強化し、対応ノウハウを取得、年間を通して実施できるメニューを構築。



バリアフリー化

増加傾向にある障害やアレルギーのある方の受入れにも対応し、全ての子ども達が安心して参加できる体制づくり

2015年～

農山漁村振興交付金（H29～農泊推進対策、R元高度化促進事業）の活用

「地域に学ぶ」をテーマとした地域連携の農泊の推進

- 地域の先人たちの協力のもと、旅行者や異年齢の方との交流ができる場所を提供し、地域連携で自然資源・文化資源を大切にしたい農泊を推進、展開していく。
- 外国人旅行者を呼び込むための体制づくりを強化し、多種多様な受入れ、世界中の人々との交流ができる観光地域を目指す。



三線体験

クルーズ船の増加、インバウンドの増加

今後の展望

○ 野菜の周年栽培施設等の環境を整備し、障がい者の就労の場を確保、安定雇用を実現。



キーワード

内発的

障がい者

農福

基本情報

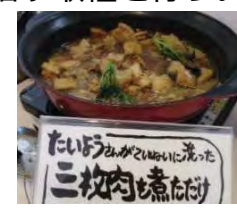
- 所在地：沖縄県宮古島市
- 地域指定：都市的地域
- 団体名：社会福祉法人みやこ福祉会
- 選定表彰：
 - H30年度障害者雇用優良事業所
 - (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長 努力賞
- 主力商品・イベント：
 - 就労継続支援（野菜栽培、パン工房、レストラン）
- 活用している地域資源：
 - 農林水産物
- 主な国等の支援策：
 - 農山漁村振興交付金（農福連携対策）他、厚生労働省、環境省、県、市の補助金



パン工房の商品

取組の概要

- 障がい者の働く場の乏しかった宮古島で、障がい者就労の受け皿として開所。
- 野菜ランドみやこ（A型事業所）、トマトランドみやこ（B型事業）、パン工房アダナス及びレストラン太平山（B型事業）を整備し、障がい者が容易かつ安全に、個々の能力を十分発揮して作業できるよう配慮。
- 野菜の養液栽培による周年栽培システムや、栽培施設へのLED導入による低コスト化により、年間を通じた安定生産や雇用の場の確保、工賃引上げを可能とする。
- 地元の食材や、法人で生産している野菜等を食材とした食事を提供することで六次産業化に取り組むと同時に、障がい者の自立とビジネスを両立させることにより健常者と障がい者が等しく生きる地域の構築を目指す取組を行う。



トマトランドみやこのみなさん レストラン太平山 レストランで提供される料理 野菜ランドみやこ

体制図

設立年：平成13年6月5日（社会福祉法人化）

社会福祉法人
みやこ福祉会

みやこ学園（室内、園芸、トマト） 就労継続支援B型

アダナス（パン製造、レストラン） 就労継続支援B型

相談支援事業所みやこ 一般 特定 児童

野菜ランドみやこ 就労継続支援A型

グループホームみやこ 共同生活援助事業

障害者就業・生活支援センターみやこ
障害者就業・生活支援センター事業

生活介護事業所みやこ 共同介護事業

構成員

理事 6人
評議員 7人
監事 2人
職員 52人
利用者 103人

取組の成果

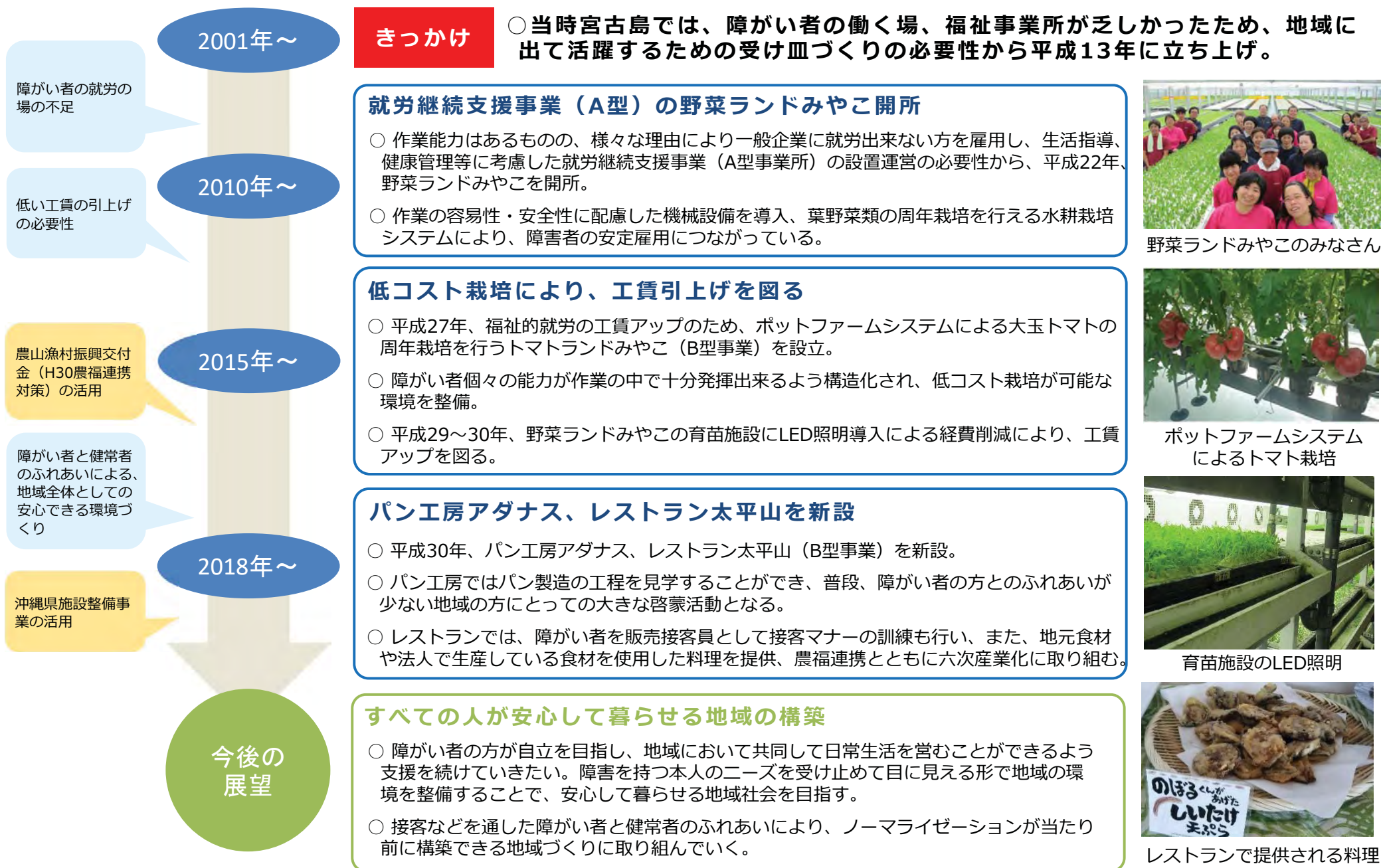
- 雇用実績は13人、就労実績は27人（R元）
- 売上高は約4.7千万円と大きく増加（R元）
- 広報に力を入れて集客力も上がり、交流人口は約1.9万人（R元）



パンの製造販売

所在地 ▶ 沖縄県宮古島市平良字下里3107番地の243
 連絡先 ▶ TEL:0980-73-7770 FAX : 0980-74-2338
 E-mail: miya-gaku@cronos.ocn.ne.jp
 ウェブサイト ▶ <http://www.miyakofukushikai.jp/>

【取組のプロセス】



農山漁村発イノベーションの推進

- 農山漁村に人を呼び込むためには、**所得と雇用機会の確保**が不可欠。
- 農山漁村を舞台とした「**農山漁村発イノベーション**」(活用可能な地域資源を発掘し、磨き上げた上で、他分野と組み合わせる取組)により新たなビジネス展開を促進。

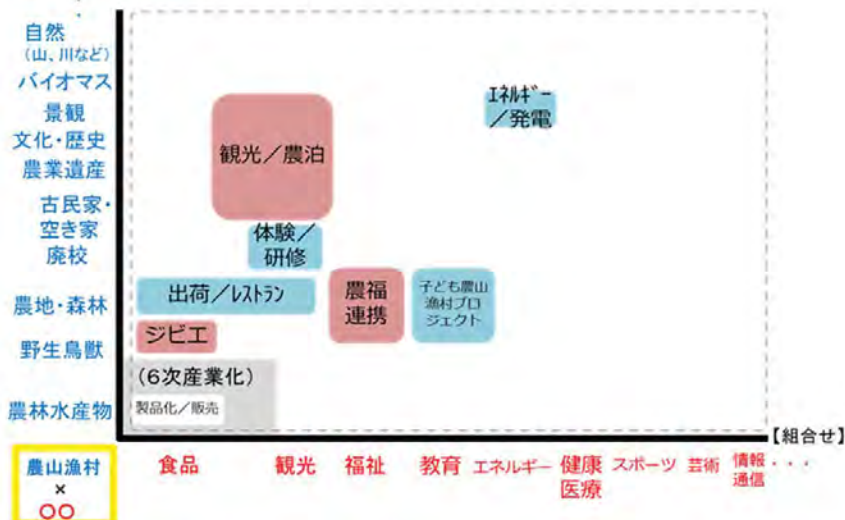
【従来の農林水産省の主な施策対象】

- **対象地域資源**や他分野との**組合せの範囲が限定**
- **一次産業起点の取組**に限定

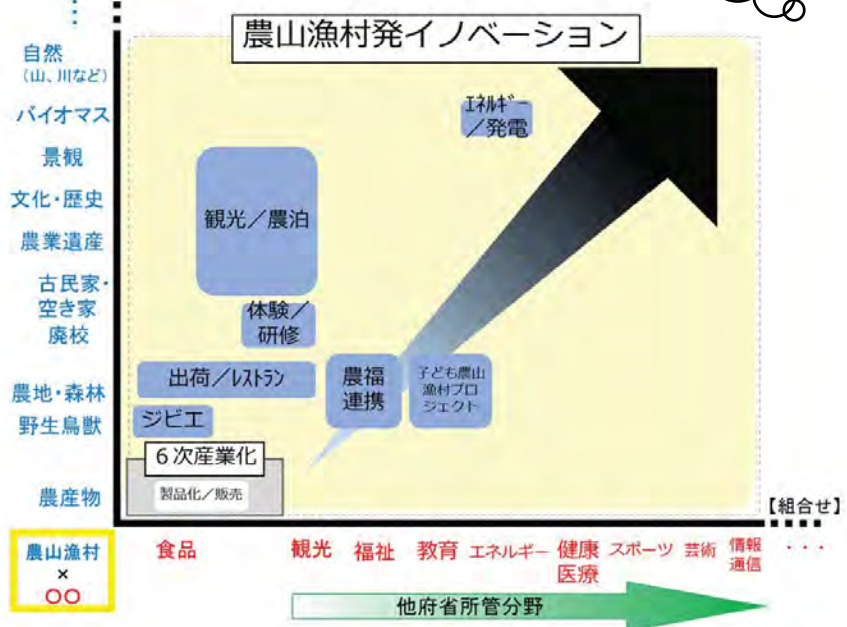
【農山漁村発イノベーションの推進のイメージ】

- 農山漁村の**あらゆる地域資源**をフル活用した取組を支援
- 他産業起点の取組など**他分野との連携**を一層促進

【農山漁村の地域資源】



【農山漁村の地域資源】



〈食料・農業・農村基本計画（令和2年3月31日閣議決定）（抜粋）〉

第3 食料、農業及び農村に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策

3. 農村の振興に関する施策

（略）関係府省、都道府県・市町村、民間事業者など、農村を含めた地域の振興に係る関係者が連携し、現場の実態と課題やニーズを把握・共有した上で、その解決や実現に向けて、施策を総合的かつ一体的に推進する。

（1）地域資源を活用した所得と雇用機会の確保

① 中山間地域等の特性を活かした複合経営等の多様な農業経営の推進

（略）地形による制約等不利な生産条件を有する一方で、清らかな水、冷涼な気候等を活かした農作物の生産が可能である点を活かし、中山間地域等直接支払制度により生産条件に関する不利を補正しつつ、地域特性を活かした作物や現場ニーズに対応した技術の導入を推進するとともに、米、野菜及び果樹等の作物の栽培や畜産、林業も含めた多様な経営の組合せにより所得を確保する複合経営モデルを提示する。（略）

② 地域資源の発掘・磨き上げと他分野との組合せ等を通じた所得と雇用機会の確保

ア 農村発イノベーションをはじめとした地域資源の高付加価値化の推進

農村を舞台として新たな価値を創出し、所得と雇用機会の確保を図るため、「農村発イノベーション」（活用可能な農村の地域資源を発掘し、磨き上げた上で、これまでにない他分野と組み合わせる取組）が進むよう、農村で活動する起業家等が情報交換を通じてビジネスプランを磨き上げることができるプラットフォームの運営など、多様な人材が農村の地域資源を活用して新たな事業に取り組みやすい環境の整備などにより、現場の創意工夫を促す。（略）

さらに、現場発の新たな取組を抽出しつつ、複合経営等の多様な農業経営、農村発イノベーションをはじめとした地域資源の高付加価値化等の取組を様々に組み合わせることで所得と雇用機会を確保するモデルを提示し、全国で応用できるよう積極的に情報提供する。

（3）農村を支える新たな動きや活力の創出

① 地域を支える体制及び人材づくり

ア 地域運営組織の形成等を通じた地域を持続的に支える体制づくり

地域を維持していくためには、リーダーの世代交代等に関係なく地域を持続的に支えることができる体制を維持・構築することが重要である。このため、中山間地域等において、「小さな拠点」の形成と併せて、農業協同組合などの多様な組織による地域づくりの取組を推進するとともに、生活サービスの維持・確保、仕事・収入の確保等の地域課題の解決に取り組む地域運営組織等の地域づくり団体の設立や集落協定の広域化等を推進する。体制の構築に当たっては、集落営農等の活動を地域づくりなどの分野に多角化していくことや、地域運営組織等の活動を農地の利用及び管理などに広げていくことに対する支援の在り方を示す。

イ 地域内の人材の育成及び確保

地域づくりを支える人材を中長期的な視点から育成していくため、地域が直面する課題の解決や地域活性化に資する学習等を推進する。

また、地域人口の急激に直面している地域において、「地域人口の急激に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」の仕組みを活用し、地域内の様々な事業者を多業（一つの仕事のみに従事するのではなく、複数の仕事に携わる働き方）により支える人材の確保及びその活躍を推進することにより、地域社会の維持及び地域経済の活性化を図る。

〈食料・農業・農村基本計画（令和2年3月31日閣議決定）（抜粋）〉

ウ 関係人口の創出・拡大や関係の深化を通じた地域の支えとなる人材の裾野の拡大

関係人口の創出・拡大や関係の深化を通じて地域の支えとなる人材の裾野の拡大を図るため、体験農園、農泊、ふるさと納税等の様々なきっかけを通じて地域への関心や関わりを持った者が、関心や関わりを段階的に深め、地域活動への参画や援農・就農等に効果的につなげていくための仕組みを具体化する。（略）

② 農村の魅力の発信

ア 副業・兼業などの多様なライフスタイルの提示

農村で副業・兼業などの多様なライフスタイルを実現するための、農業と他の仕事を組み合わせた働き方である「半農半X」やデュアルライフ（二地域居住）を実践する者等を増加させるための方策や、本格的な営農に限らない多様な農への関わりへの支援体制の在り方を示す。（略）